

# 事務事業チェックシート

事務事業No  
**1080**

事業名  
**学校給食管理運営事業**

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	2	健やかな体を育む教育の推進
取組方針	3	食育の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	小学校費		
	目	学校管理費		
	大事業	小学校管理事業		
	中事業	学校給食管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 保健給食管理課 中 往弘 435-1137
事業実施の根拠法令	学校給食法 第6条第1項及び第7条第1項		関連課	

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 児童に対し、安心安全な給食を提供できるようにする。また平成29年度に開校する伏虎義務教育学校については、小学生だけでなく中学生にも全員給食を提供する。		全体事業概要 学校給食の調理業務等を民間委託する。		
	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
民間委託実施済校の契約更新を行った。 伏虎義務教育学校の給食の民間委託への準備を行った。		民間委託実施済校の契約更新を行った。 伏虎義務教育学校の給食の民間委託の実施。 大新小、浜宮小学校の給食の民間委託の準備	民間委託実施済校の契約更新を行った。 大新小、浜宮小学校の給食の民間委託の実施 雑賀崎小の給食の民間委託の準備	民間委託実施済校の契約更新を行った。 雑賀崎小の給食の民間委託の実施	民間委託実施済校の契約更新を行う。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	390,483	385,808	335,025	337,718	368,816	363,443	377,511	0	377,511	0	
伸び率(%)	10.2%	10.4%	△14.2%	△12.5%	10.1%	7.6%	2.4%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	7,154	7,313	7,338	8,056	8,072	8,312	8,312	0	8,312	0
	正規職員以外	1,475	1,448	1,374	1,374	1,340	695	695	0	0	0
	小計	8,629	8,761	8,712	9,430	9,412	9,007	9,007	0	8,312	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	390,483	385,808	335,025	337,718	368,816	363,443	377,511	0	377,511	0	
所要人数(人)	正規職員	0.90	0.92	0.92	1.01	1.01	1.04	1.04	0.00	1.04	0.00
	正規職員以外	0.55	0.54	0.55	0.55	0.54	0.28	0.28	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	消耗品費17,246千円、所々修繕料8,413千円、手数料7,559千円、業務委託料309,933千円、給食用器具費7,120千円、給食費補助金9,385千円等										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
民間委託数	校	目標値		0	0	2	1	
		実績値		0	2	1		
		達成度(%)		0%	0%	50%	0%	%
委託率(民間委託実施済小学校/全小学校)	%	目標値		50	50	55		
		実績値		53	50	55		
		達成度(%)		106%	100%	100%	0%	%
		目標値						
成果指標		実績値						
		達成度(%)						

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	安心・安全な学校給食を十分提供できており、今後も継続して行うべき事業である。また業者選定は一般競争入札で行っており、コストの削減は難しい。
見直し・改善内容	行財政改革に基づき委託を進めているところであるが、労働組合との交渉において折り合いがつかず、委託が困難な状況にある。